

## 市長さんへ

私たち市民の暮らしをより良くするために、日々ご尽力いただきありがとうございます。  
この3月から全国的に、5～11歳のこども達へのコロナワクチン接種が始まりました。

今回、お手紙と一緒に「本当に大丈夫？」というチラシを同封しましたが、その中にあるように、2021年12月8日の滋賀県甲賀市議会において、全国で初めて、市区町村単位での「コロナワクチン接種後の死亡者数」が情報公開されました。これは、甲賀市議会において、ある議員が一般質問を行った結果です。

人口約9万人の甲賀市において、2021年2月～10月末の約8ヶ月間でコロナワクチン接種後に亡くなられた方の数が244人。これに対して、コロナ禍と言われ出した2020年1月～2021年10月末の間に、甲賀市民でコロナで亡くなったとされる方は17人。

ただし「死因が何であれ、PCR陽性なら全てコロナ死としてカウントするように」と厚生労働省から全国の都道府県に対し、通達が出されているため、実際はこの17人が本当にコロナで亡くなったかどうかは定かではありません。これは、市長もご存知かと思います。

ところで、厚生労働省発表の人口動態総覧によると、コロナワクチンの接種が始まった2021年の超過死亡は6万人を超え、東日本大震災があった2011年を上回り、戦後最大となりました。対して、コロナが始まった2020年の超過死亡は9千人減となっています。

これらの情報を、市長はどう思われますか？私たちはどう理解したらいいのでしょうか？今、それぞれのまちで、この国で、そして世界で、一体何が起こっているのでしょうか？

現在、政府も、全国のほとんどの自治体も、コロナワクチン接種を推奨する方向で進んでいます。このような重要な情報が広く一般に知らされていない中で、私たち市民はコロナワクチンを接種するかどうかを決めなくてはならない状況です。

もし、こういった数が、きちんと市民に広く公開されていれば、「国やメディアや自治体が奨めるから」ではなく「コロナとコロナワクチン、どちらがリスクが大きいのか？」と、市民一人一人が自分自身の頭で考え、十分に検討し、判断することができるでしょう。

人口9万人規模の甲賀市で244人なら、自分の住むまちでは一体何人の方々が、コロナワクチン接種後に亡くなられているのだろうか？コロナで亡くなったとされる方は何人になるのだろうか？私たち市民としては自分のまちにおける正確な数字を知りたいと思います。

また、2021年の全国での超過死亡が、戦後最大の6万人超だというのなら、全国各地の市区町村でも同じように、戦後最大の超過死亡となっているはずではないでしょうか？